平成30年度

入 学 者 選 抜 要 項

鳥 取 大 学

平成30年度　鳥取大学入学者選抜試験日程一覧

一　般　入　試

大学入試センター試験
（試験日）1月13日(土)
1月14日(日)

前期日程

出願期間
1月22日(月)～1月31日(水)

試験日
2月25日(日)・26日(月)

合格発表
3月6日(火)

入学手続期限
3月15日(木)

後期日程

試験日
3月12日(月)

合格発表
3月20日(火)

入学手続期限
3月27日(火)

特別の入試方法

推薦入試Ⅰ
（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

出願期間　11月1日(水)～6日(月)

試験日　11月18日(土)

合格発表　11月27日(月)

入学手続期限　12月4日(月)

推薦入試Ⅱ

出願期間

医(医・保)・農(共)	12月11日(月)～15日(金)
地・工・農(生)	1月16日(火)～19日(金)
医(生)	1月16日(火)～22日(月)

試験日

工	2月2日(金)
地・医	2月3日(土)
農	2月3日(土)・4日(日)

合格発表　2月7日(水)

入学手続期限　2月14日(水)

特別入試
（帰国子女・社会人）

出願期間
12月11日(月)～15日(金)

アドミッションオフィス（AO）入試

出願期間　9月1日(金)～6日(水)

第1次選考　書類選考・面接
9月22日(金)～9月30日(土)

選考結果発表　10月10日(火)

第2次選考　10月21日(土)・22日(日)

合格発表　10月27日(金)

入学手続　11月10日(金)・11日(土)

私費外国人留学生入試

出願期間
1月22日(月)～1月31日(水)

試験日
2月25日(日)

合格発表
3月6日(火)

入学手続期限
3月16日(金)

〈不測の事態が発生した場合の諸連絡〉
災害等により不測の事態が発生した場合の本学入学者選抜に関する情報提供は，以下の本学ホームページで行いますので，出願及び受験の直前には特に注意してください。
【鳥取大学入学試験情報】
ＰＣサイト：　http://www.admissons.adm.tottori-u.ac.jp/　　携帯電話サイト：　http://daigakujc.jp/toridai/

鳥取大学憲章

鳥取大学は，明治７年設置の小学教員伝習所を起源とする鳥取師範学校と鳥取青年師範学校，大正９年に設置された鳥取高等農業学校の流れをくむ鳥取農林専門学校，及び昭和20年に設置された米子医学専門学校を前身とする米子医科大学を包括して，昭和24年に国立学校設置法による新制国立大学として，学芸学部，農学部，医学部の３学部で発足した。昭和40年には地域の産業育成を目指し工学部が設置された。

前身校時代から現在まで，実学を重視して，人類が蓄積してきた知識を駆使し，地域社会が直面する課題に果敢に挑み，人々の生活の向上と産業の育成を通して地域に貢献してきた。同時に，問題の解決を探求する中から人類に有用な普遍的知識を見出して世界に発信し，平和な社会の建設と人材の育成や学術の進歩に寄与してきた。

鳥取大学は，常に地域に寄り添う姿勢を堅持するとともに世界を視野に入れた活動を行ってきた。様々な価値観が交錯するグローバル時代を迎えて，多様な文化や考え方があることを理解し，少数者や厳しい条件下におかれている人々に対する思いやりの心をもち，社会に対する責任を果たすことを行動の規範とする。

■鳥取大学の基本理念「知と実践の融合」

鳥取大学は，このように実学を中心に地域とともに歩んで世界へ展開してきた伝統を重んじ，これからも知識を深め理論を身につけ，実践を通して地域から国際社会まで広く社会に貢献することで，知識をさらに智恵に昇華する営みを志向していく。すなわち，理論と実践を相互に触発させ合うことにより問題解決と知的創造を行う「知と実践の融合」を本学の基本の理念とし，教育，研究及び社会貢献に取り組む。

■鳥取大学の目標

鳥取大学は，「知と実践の融合」の基本理念のもと，人々が安心して暮らすことのできる未来を創るために前進していく。地球規模の課題の克服も身近な地域課題の解決から始まり，地域の問題は地球的視点で取り組むことが必要であり，そして何よりも人類の幸福のために役立たねばならないとの認識から，次の３つの目標を掲げる。

1. 社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成
2. 地球規模及び社会的課題の解決に向けた先端的研究の推進
3. 国際・地域社会への貢献及び地域との融合

鳥取大学は，今日の本学を築きあげた先達の労苦に思いをはせ，誇りある伝統を受け継ぎ，つづく後進が恭敬の念を持ってこの学び舎を引き継ぐことができるように，持てる力のすべてをかけ目標の達成に努めていく。

入学者受入れの方針

鳥取大学は，本学の基本理念である「知と実践の融合」を志向し，「知識を深め理論を身につけるとともに，実践を通して地域から国際社会まで広く貢献していきたい」という意欲をもった，次のような人を求めています。

1．文化，社会，自然に関する基本的な知識・技能を有する人

2．大学で学ぶにあたり，基礎的な思考力，判断力，表現力を修得している人

3．自己の能力を継続的に向上させようとする意欲がある人

4．倫理観及び責任感をもち他者と協働して社会に貢献したいと考えている人

上記のような人を選抜するために，様々な背景を持つ人に対して広く受験機会の門戸を開くよう，多様な入試の機会を設けます。

地　域　学　部

地域学部地域学科

地域学部は，人々の生活の質の向上とその基盤である地域の持続的発展に貢献するために，地域の特質を深く理解して，地域の抱える諸問題や公共的課題を的確に把握し解決するための知識・思考力・社会的実践力を備えた人材の育成を目指しています。その目的のために，地域の暮らしを枠づけている自然と人間との関係，そして両者の相互作用を通して形成され，人々の発想や行動の源泉となっている様々なつながりと文化，さらに近現代の価値観や諸制度，グローバルな動き等について学ぶことが必要です。

そこで地域学部では，以下のような特色ある３つの教育研究を行います。

1．地域で生起している諸問題を構造的に把握するための教育研究
2．地域の持続的発展について具体的に構想し，取り組むための教育研究
3．地域を支える人間形成をはかるための教育研究

これらの教育研究と相互の連携，さらには地域と協働した教育を通して，理論と実践の融合した複合的能力を育成します。

地域学部では，地域とそこに生きる人々との関わりに関心を持ち，これを科学的に探求し，生活の質の向上とその基盤である地域の持続的な発展に貢献したいと願う人を求めています。本学部で，多種多様な分野の学修を通して視野を広げ，国内外の地域社会で活躍するために必要な専門性を身につけて，地域の課題を解決し豊かな生活を実現する方策を共に考えていきましょう。

〔地域創造コース〕

地域創造コースでは，多面的な視点から地域を考え，地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人や，地域のさまざまな資源を有効に活用し，発展させるための提言ができる人を育てることを目指しています。

そこで本コースは，次のような人を求めています。

1．地域の様々な課題に興味をもち，それを解決し魅力的な地域を創造したいと望んでいる人
2．多面的な視点から地域を考え，地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
3．地域の多様な資源を有効に活用し，地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人

〔人間形成コース〕

人間形成コースでは，学習科学，発達科学，家族支援，教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて，人間性に対する理解と信頼を培い，地域の教育問題の解決を図り，豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成を目指しています。

そこで本コースは，次のような人を求めています。

1．教育，保育，心理，教育福祉に高い関心をもち，自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
2．地域教育学を学ぶに必要な基礎学力を備え，柔軟で創造性の豊かな思考ができる人
3．地域に住む人々の学習と発達，心身の自立に関わる教師，保育士などの仕事を強く望む人

〔国際地域文化コース〕

国際地域文化コースでは，現代社会の構造と文化的特質，グローバルな文化と芸術文化，地域の生活文化など，文化の様々な側面を，歴史性・多様性・関係性・生活における意味などから理解することを目指します。それを踏まえて，日本を含む世界の様々な地域で，異質なものを相互に認め合いながら，「一人ひとりの生活と生の充実」「つながりの創出」を実現するために必要な実践的知識や技法，言語能力や現地感覚・現場感覚を身につけた人材を養成します。

そこで本コースは，広く次のような人を求めています。

1．様々な文化（言語・文学・歴史など）について深く学び，それを地域づくりに活用したい人
2．芸術文化（音楽・美術・舞踊・アートマネジメント・映像など）について深く学びたい人
3．地域の文化を多様な視点から調査・分析する意欲のある人
4．多様な文化に触れ，国際的感性と実践的言語コミュニケーションの力を身につけたい人
5．地域の文化的課題に取り組み，創造的地域づくりのキーパーソンを目指したい人

医　学　部

医学部は，医学科，生命科学科，保健学科がお互いに連携を取りながら，生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成します。

医学部は，山陰地方の歴史と伝統ある医学部として，21世紀にふさわしい医学，生命科学，保健学を修得し，これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行います。そして，限りない人間愛を涵養しながら，地域社会の課題を解決し，地域の発展に貢献するとともに，国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指します。

医学部の理念・教育目標を達成するため，各学科では次のような人を求めます。

医学科

医学科では，高い倫理観と豊かな人間性を備え，地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成します。

1．生命の営みに関心のある人
2．科学的な思考能力のある人
3．医学に対する学習意欲と適性のある人
4．人と協調できる柔軟性のある人
5．山陰地方の風土と生活に関心のある人
6．医学・医療と保健・福祉の進歩に貢献できる人

生命科学科

生命科学科では，生命倫理を尊重するとともに，基礎医学と最先端の生命科学を修得し，医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を養成します。

1．現代の医学・生命科学及びその関連分野の動向・進展に関心があり，それらの知識・技術を学び，向上・発展させる研究活動に興味がもてる人
2．真理探究の意欲に燃え，創造的目標の達成にチャレンジし，勉学・自己研鑽に労力をおしまない人
3．協調性を備え，生命科学を通して国際的な広い視野と，仕事への使命感を持って人類に役立つ喜びを感じる人

保健学科

保健学科では，看護学専攻は看護学の理論と技術を修得し，人間の尊厳を守り，地域特性に合わせた看護を実践できる看護職を，検査技術科学専攻は生命倫理を尊重し，最先端のバイオサイエンスと生体・機能検査の技術をそなえた臨床検査技師を養成します。

〔看護学専攻〕

1．健康に関わる様々な問題について，深く広い関心のある人
2．新たな知識の探求や柔軟な発想，論理的な思考の基礎となる学力のある人
3．相手の言葉に耳を傾け，相手の立場を思いやることができ，自らも的確に表現する力のある人
4．他者と協調し，信頼関係を築き，主体的に行動できる人
5．自ら課題を見出し主体的，創造的に探究して自己の成長を目指す人

〔検査技術科学専攻〕

1．生命倫理を尊重するとともに，科学的な視点で物事を判断できる人
2．チーム医療の一員としての仕事に自信と責任を持ち，周りと協調のできる人
3．一つの事象にとらわれず幅広く物事を見ることができる，視野の広い人
4．地域環境の保全や地域社会の保健，バイオサイエンスに関心を持てる人
5．地域社会のみならず国際的にも貢献できる人

工　学　部

工学部は，人類の福祉と社会の発展に貢献するため，主として工学の分野における学術研究と教育を行い，社会が必要とする技術を開発し，それを駆使しうる人材を養成することを目的としています。この目的に共感して学ぶことのできる次のような人を求めます。

1．地球の環境，人類の幸福・福祉に関心を持ち，社会的責任についての考えや倫理観を身につけたいと考えている人
2．基礎知識や専門知識を学習し，学んだことを新技術開発や問題解決に応用して社会に貢献したいと考えている人
3．目的を持って自ら学ぶ努力のできる人
4．他者の意見を聞き，自らの意見を発信するための能力や技能を身につけたいと考えている人
5．地域社会への貢献や国際的な活躍ができる技術力を身につけ，それを活用する意欲のある人

工学部では，基礎学力，コミュニケーション能力，学習意欲の判定のために，センター試験及び一般入試，推薦入試などを活用して入学者の選考を行います。

機械物理系学科

1．自然現象や様々な事象に強い興味を持ち，物事を根本的なところから思考できる人
2．機械，航空宇宙，ロボティクス，物理工学を学ぶのに必要な基礎学力，特に数学，物理についての学力，及び国語，英語などの語学能力を有し，学習意欲を持っている人
3．自立・自律心の向上を目指す人
4．自然環境と人間社会との共存に関心を持ち，柔軟な発想・洞察をもって課題の発見に努力のできる人
5．課題の解決に向けて，倫理観と熱意を持って持続的に取り組むことのできる人

電気情報系学科

1．数学・理科・英語などの工学に必要な基礎学力を有している人
2．工学系の学問分野，特に電気電子情報分野（エネルギー，材料，情報，制御，システム等）に興味を持つ人
3．工学が社会や自然に及ぼす影響に関心を持つ人
4．論理的記述力，口頭発表力，討議などのコミュニケーション能力を高め，将来，国際社会で役立つ技術者，研究者となる意欲を持つ人
5．社会の変化に対応して，自ら学び続ける意欲を持つ人

化学バイオ系学科

1．自分は何をもって社会に貢献しようとするのか，ということを自分に問い続けることのできる人
2．人類の幸福と福祉，健康について，深い興味と問題意識を持っている人
3．化学に関係した分野に強い関心を持っており，新しい問題点を指摘できる人
4．生命の仕組みや生物の情報伝達能力に興味がある人
5．人類の役に立つ新しい生物や物質の発見を志す人
6．環境にやさしく持続性のある資源やエネルギーの創製に意欲を持っている人

社会システム土木系学科

1．数学・理科・英語などの基礎学力を有している人
2．広く物事に関心を持ち，幅広く学問を学ぶ積極的な心構えがある人
3．人類の安全と平和，ならびに健康と福祉について考え得る技術者倫理を持つことができる人
4．人類と自然との調和を図り，持続的な社会を創造する力を身につける意志がある人
5．計画・建設・管理技術に関する幅広い知識と技能を身につける意欲がある人

農　学　部

大学の入学者受入の方針に示した人材像に加え，農学部では，人類の持続的生存と福祉への貢献を目指す次のような人を求めています。

1．食料，環境，いのちについて強い関心をもち，自主的，自発的に学ぶ意欲を持つ人
2．国内外で農学の発展に積極的に貢献したいと考えている人

生命環境農学科

生命環境農学科では，大学及び農学部の入学者受入の方針に加え，傾聴力を有し，視野を広げ，創造力を養う意欲をもった，次のような人を求めています。

1．乾燥地における環境問題や農業の問題の解決を目指す人
2．地域資源の保全とその利活用を目指す人
3．有用生物資源の発掘およびその生産と利活用を目指す人
4．生命現象の解明と応用を通じて人類の生存や生活改善への貢献を目指す人

共同獣医学科

岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科では，動物，人間社会，環境の健全性の維持に貢献し，多様化，高度化，国際化しつつある獣医学に対する社会的要請に対応できる獣医師の養成を目指していきます。そのため，以下に掲げる意欲を持つ人を求めます。

1．高度な獣医学教育に対応し得る高い総合的学力を備えている人
2．国際性及び科学的・論理的思考の習得に必要な基礎的な語学力と理系の知識を備えている人
3．自然や生命に強い興味を持ち，それを探求する意欲を持つ人
4．獣医学に関わる高い倫理観と使命感，コミュニケーション能力を備える人
5．獣医師としての目的意識を持ち，獣医学を通じて社会の発展に貢献する意欲を持つ人
6．公衆衛生や環境衛生，動物の病気の診断・治療等の幅広い分野について強い意識を持って学習に励む人
7．国際交流に積極的に関わり，獣医師として世界に貢献する意欲を持つ人

目　　次

1．募　集　人　員 …… 2

2．出　願　資　格 …… 3

3．出　願　方　法 …… 3

4．障がい等のある入学志願者の事前相談について …… 3

5．出　願　期　間 …… 3

6．入学者選抜方法等 …… 4

7．入学者選抜の実施教科・科目等 …… 6

8．アドミッションオフィス入試 …… 17

9．特別の入試方法 …… 20

⑴ 推　薦　入　試

① 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さないもの）…… 20

② 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課すもの）…… 26

⑵ 帰国子女特別入試 …… 38

⑶ 社会人特別入試 …… 39

10．私費外国人留学生入試 …… 41

11．学生募集要項の発表・請求方法等 …… 43

12．入学者選抜試験個人成績の開示について …… 45

13．鳥取大学の紹介（大学案内・入試情報）について …… 45

1．募　集　人　員

学部	学科等		入学定員	募集人員							
				前期日程	後期日程	アドミッションオフィス入試	特別入試				私費外国人留学生
							推薦入試		帰国子女	社会人	
							Ⅰ	Ⅱ			
			人	人	人	人	人	人			
地域学部	地域学科	地域創造コース	60	36	10	10	4		若干名	若干名	若干名
		人間形成コース	55	38	13	4					
		国際地域文化コース	55	30	13	6		6			
	計		170	104	36	20	4	6			
医学部	医学科		100	65	20			15			
	生命科学科		40	30	5			5			
	保健学科	看護学専攻	80	45	10			25		若干名	
		検査技術科学専攻	40	20	10			10			
	計		260	160	45			55			
工学部	機械物理系学科		115	74	37		4		若干名	若干名	
	電気情報系学科		125	82	31		5	7			
	化学バイオ系学科		100	51	39			10			
	社会システム土木系学科		110	78	18	2	7	5			
	計		450	285	125	2	16	22			
農学部	生命環境農学科		220	110	25	10	35	40	若干名	若干名	
	共同獣医学科		35	30				5			
	計		255	140	25	10	35	45			
合計			1,135	689	231	32	55	128			

(注) 1．帰国子女及び社会人のための特別入試の募集人員（若干名）は，それぞれの学科等の前期日程の募集人員に含みます。
2．医学部医学科前期日程の募集人員(65人)のうち，22人は地域枠(鳥取県枠14人以内，兵庫県枠2人，島根県枠5人以内，山口県枠1人以内)として募集します。
3．医学部保健学科看護学専攻前期日程の募集人員（45人）のうち，10人以内は鳥取県看護職員養成枠として募集します。
4．医学部医学科及び保健学科看護学専攻の推薦入試には，地域枠推薦による募集人員を含みます。
5．アドミッションオフィス入試及び推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般入試（前期日程・後期日程）で補充します。
6．推薦入試「Ⅰ」は，大学入試センター試験を課さないものであり，「Ⅱ」は大学入試センター試験を課すものです。

医学部医学科推薦入試Ⅱでは，緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員５人）」を申請予定です。予定であり，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

２．出　願　資　格

次のいずれかに該当し，かつ，平成３０年度大学入試センター試験（受験科目については，７．の各学部・学科等の指定する教科・科目を参照）を受験した者

⑴　高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成３０年３月卒業見込みの者

⑵　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成３０年３月修了見込みの者

⑶　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成３０年３月３１日までにこれに該当する見込みの者

（注）１．上記⑶の学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により出願する場合は，出身教育施設での学習内容及び当該教育施設の教育課程について，個別の入学資格審査を行う必要がありますので，事前に申請方法を問い合わせ願います。

問い合わせ先　　学生部入試課（電話（0857）31-5061）

入学資格審査申請期間

１回目　平成２９年　８　月１６日（水）～平成２９年　８　月２５日（金）

２回目　平成２９年１２月　１　日（金）～平成３０年　１　月１９日（金）

２．アドミッションオフィス入試，特別入試（推薦入試，帰国子女入試，社会人入試）の出願要件及び私費外国人留学生入試の出願資格については，それぞれの項（17ページから41ページ）を参照してください。

３．出　願　方　法

⑴　本学の前期日程に出願した者は，他の国公立大学の前期日程に出願できません。また，本学の後期日程に出願した者は，他の国公立大学の後期日程に出願できません。

⑵　本学の前期日程及び後期日程からそれぞれ一つの学部，学科，専攻等に出願できます。

⑶　本学の推薦入試に出願した者は，他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入試に出願することはできません。

ただし，推薦入試に不合格となった場合に備えて，前期日程で試験を行う大学・学部から一つ，後期日程で試験を行う大学・学部から一つの大学・学部に出願することができます。

（本学の工学部電気情報系学科，社会システム土木系学科及び農学部生命環境農学科の推薦入試Ⅰに出願し不合格となった場合は，同一学科の推薦入試Ⅱに出願することができます。）

※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/）参照

４．障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で，障がい等のために，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，あらかじめ鳥取大学学生部入試課と相談してください。

ただし，体幹及び両上下肢の機能障がいが著しい者で，大学入試センター試験で「代筆解答」を希望する者は**平成２９年９月１日（金）**までにあらかじめ鳥取大学学生部入試課と相談してください。

５．出　願　期　間

平成３０年　１　月２２日（月）から　１　月　３１　日（水）１７時まで（必着）

⑴　出願書類等を郵送する場合は，必ず書留速達とし，１月３１日（水）までに必着となるように郵送してください。これ以降に到着した場合は，１月３０日（火）以前の発信局消印があるものに限り受け付けます。郵便事情を十分考慮して発送してください。

⑵　出願書類等を持参する場合は，９時から１７時まで受け付けます。ただし，土曜日，日曜日は受け付けません。

（注）アドミッションオフィス入試，特別入試（推薦入試，帰国子女入試，社会人入試）及び私費外国人留学生入試の出願期間については，それぞれの項（17ページから41ページ）を参照してください。

６．入学者選抜方法等

（一般入試，専門高校・総合学科卒業生入試，アドミッションオフィス入試）

学部・学科等名				個別学力検査等：個別学力検査を課する	実技検査等：実技検査を課する	実技検査等：面接を行う	実技検査等：小論文を課する	実技検査等：外国語におけるリスニングテストを課する	２段階選抜：主として，調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第１段階選抜を行い，その合格者について更に検査等を行う	２段階選抜：第１段階選抜に合格のよる者：倍率定員に対する	２段階選抜：第１段階選抜に合格のよる者：その他	専門高校・総合学科卒業生入試	アドミッションオフィス入試	個別学力検査等の日程	備考（欠員の補充の方法等）
地域学部	前期日程	地域学科	地域創造コース	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	２月25日	欠員が生じた場合は，追加合格を行うほか，４月１日以降欠員補充第２次募集を実施することがある。
			人間形成コース	○			×								
			国際地域文化コース	○			×								
	後期日程	地域学科	地域創造コース	×			○							３月12日	
			人間形成コース	○			×								
			国際地域文化コース	×			○								
医学部	前期日程	医学科		○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	２月25日～26日	
		生命科学科		○		×								２月25日	
		保健学科	看護学専攻	○		×									
			検査技術科学専攻												
	後期日程	医学科		×		○								３月12日	
		生命科学科				○									
		保健学科	看護学専攻			○	○								
			検査技術科学専攻												
工学部	前期日程	全学科		○	×	×	×	×	×	×	×	×	○ １学科（注1）	２月25日	
	後期日程	全学科		○										３月12日	
農学部	前期日程	生命環境農学科		○	×	×	×	×	×	×	×	×	○ １学科（注2）	２月25日	
		共同獣医学科													
	後期日程	生命環境農学科		×										×	

備考：○印は該当すること，×印は該当しないことを示します。

（注１）社会システム土木系学科のみ実施します。

（注２）生命環境農学科のみ実施します。

（特別入試）

学部・学科等名 ＼ 選抜方法等			推薦入試								帰国子女・社会人等のための特別入試		備考
			入学定員の一部について，出身学校長の推薦に基づき，学力検査を課さず調査書を主な資料として判定する							推薦入試募集人員	帰国子女	社会人	
			個別学力検査及び大学入試センター試験を課さない（推薦入試Ⅰ）	個別学力検査を課さず，大学入試センター試験を課する（推薦入試Ⅱ）	実技検査等：実技検査を課する	実技検査等：面接を行う	実技検査等：小論文を課する	実技検査等：外国語におけるリスニングテストを課する	実技検査等：その他				
地域学部	地域学科	地域創造コース	○	×	×	○	○	×	×	4人	○	○	
		人間形成コース	実施しない。										
		国際地域文化コース	×	○	×	○（注1）	×	×	×	6人			
医学部	医学科		×	○	×	○	×	×	×	15人	×	×	
	生命科学科						×			5人			
	保健学科	看護学専攻					○			25人		○	
		検査技術科学専攻								10人			
工学部	機械物理系学科		○	×	×	○	×	×	×	4人	○	○	
	電気情報系学科		○	×						5人			
			×	○						7人			
	化学バイオ系学科		×	○						10人			
	社会システム土木系学科		○	×						7人			
			×	○						5人			
農学部	生命環境農学科		○	×	×	○	×	×	×	35人	○	○	
			×	○			○（注2）			40人			
	共同獣医学科		×	○			○			5人	×	×	

備考：○印は該当すること，×印は該当しないことを示します。

（注１）面接に自己表現を含みます。

（注２）募集方法（B）：地域貢献型のみ実施します。

医学部医学科推薦入試Ⅱでは，緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員５人）」を申請予定です。予定であり，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

7．入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
地域学部 地域学科 170人 前期104 後期 36 ＡＯ 20 その他 10	地域創造コース 60人 前期36 後期10 ＡＯ10 その他 4	前期 ２月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂから１又は２ ｝から２ 現社，倫，政経，倫・政経から１ 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報 物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２ ｝から１又は２△ 又は物理，化学，生物，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 〔４教科５（６）科目又は５教科５（６）科目〕	その他	小論文
		後期 ３月12日	国 地歴・公民 数 外	国語（必須） 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ， 現社，倫，政経，倫・政経 ｝から1 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報 英，独，仏，中，韓から１ 〔３教科３科目〕	その他	小論文
		ＡＯ １次 ９月22日 ～ ９月30日 ２次 10月21，22日	大学入試センター試験は課さない		その他	第１次選考（出願書類，面接） 第２次選考（スクーリング，課題論文，グループディスカッション，個人面接）
	人間形成コース 55人 前期38 後期13 ＡＯ 4 その他 若干	前期 ２月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂから１又は２ ｝から２ 現社，倫，政経，倫・政経から１ 数Ⅰ・数Ａ（必須） 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ 物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２ 又は物理，化学，生物，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７（８）科目又は６教科７（８）科目〕	※数 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ ｝１教科選択■ 英語
		後期 ３月12日			その他	総合問題（高等学校までの学習一般を前提とし，自然科学及び人文社会科学に関する設問を与えて，理解力，思考力，表現力，論理性など地域教育を勉強するために必要な素養をみる。）
		ＡＯ １次 ９月22日 ～ ９月30日 ２次 10月21，22日	大学入試センター試験は課さない		その他	第１次選考（出願書類，面接） 第２次選考（小論文，口頭発表（プレゼンテーション），グループディスカッション，個人面接）

（注）１．※印を付してある教科は16ページの備考の２を参照してください。
２．配点欄の＊印は選択科目を示します。
３．△印の理科のうち基礎を付した科目を選択する場合は２科目とします。
４．■印を付してある個別学力検査の数学及び外国語は，両教科の受験が可能です。数学及び外国語の両教科を受験した場合は，高得点の教科の成績を用います。

個別学力検査等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の入試方法等
2段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	面接	実技	配点合計	
	センター試験	200	200	*100	*100	200					700	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査							300			300	
	計	200	200	*100	*100	200		300			1000	
	センター試験	200	*200	*200		200					600	
	個別学力検査							500			500	
	計	200	*200	*200		200		500			1100	
	センター試験	第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判断する										
	個別学力検査											
	計											
	センター試験	200	200	200	100	200					900	帰国子女 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査			*200		*200					200	
	計	200	200	200 *200	100	200 *200					1100	
	センター試験	100	100	100	50	100					450	
	個別学力検査						300				300	
	計	100	100	100	50	100	300				750	
	センター試験	第1次選考及び第2次選考の結果を総合して判断する										
	個別学力検査											
	計											

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
地域学部 地域学科	国際地域文化コース 55人 前期30 後期13 ＡＯ 6 その他 6	前期 ２月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂから１又は２ 現社，倫，政経，倫・政経から１ } から2 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ 物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２ 又は物理，化学，生物，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科６（７）科目又は６教科６（７）科目〕	※外	英語
		後期 ３月12日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報 物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２ 又は物理，化学，生物，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 〔３教科３（４）科目〕 （世Ｂ～地学基礎：から１又は２△）	その他	小論文
		ＡＯ １次 ９月22日 ～ ９月30日 ２次 10月21，22日	大学入試センター試験は課さない		その他	第１次選考（出願書類，面接） 第２次選考（自己表現，グループディスカッション，課題論文，個人面接）

（注）１．※印を付してある教科は16ページの備考の２を参照して下さい。
２．配点欄の*印は選択科目を示します。
３．△印の理科のうち基礎を付した科目を選択する場合は２科目とします。

個別学力検査等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の入試方法等
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	面接	実技	配点合計	
	センター試験	400	400	100	100	200					1200	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査					400					400	
	計	400	400	100	100	600					1600	
	センター試験	200	*100	*100	*100	200					500	
	個別学力検査							300			300	
	計	200	*100	*100	*100	200		300			800	
	センター試験	第１次選考及び第２次選考の結果を総合して判断する										
	個別学力検査											
	計											

学部・学科等名及び入学定員等			学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等
医学部 260人 前期160 後期 45 その他 55	医学科 100人 前期65 後期20 その他15		前期 2月25,26日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世B，日B，地理B，倫・政経 ｝から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理, 化学, 生物から2 英，独，仏から1 〔5教科7科目〕	※数 ※理 ※外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物理基礎・物理 化学基礎・化学 ｝から2 生物基礎・生物 英語 面接
			後期 3月12日			その他	面接
	生命科学科 40人 前期30 後期 5 その他 5		前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世B，日B，地理B，現社，倫，政経，倫・政経 ｝から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理, 化学, 生物から2 英，独，仏から1 〔5教科7科目〕	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物理基礎・物理 化学基礎・化学 ｝から2 生物基礎・生物 英語
			後期 3月12日			その他	面接
	保健学科	看護学専攻 80人 前期45 後期10 その他25	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B，現社，倫，政経，倫・政経 ｝から1 数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 物理基礎，化学基礎，生物基礎から2 又は物理，化学，生物から2 英，独，仏から1 〔5教科6科目〕	※外	英語
			後期 3月12日			その他	小論文 面接
		検査技術科学専攻 40人 前期20 後期10 その他10	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世B，日B，地理B，現社，倫，政経，倫・政経 ｝から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理, 化学, 生物から2 英，独，仏から1 〔5教科7科目〕	※数 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 英語 ｝1教科選択■
			後期 3月12日			その他	小論文 面接

（注）1．※印を付してある教科は16ページの備考の2を参照してください。
2．配点欄の*印は選択科目を示します。
3．■印を付してある個別学力検査の数学及び外国語は，両教科の受験が可能です。数学及び外国語の両教科を受験した場合は，高得点の教科の成績を用います。

個別学力検査等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の入試方法等
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	面接	実技	配点合計	
	センター試験	200	100	200	200	200					900	推薦 外国人 追加合格
	個別学力検査			200	200	200			100		700	
	計	200	100	400	400	400			100		1600	
	センター試験	200	100	200	200	200					900	
	個別学力検査								100		100	
	計	200	100	200	200	200			100		1000	
	センター試験	200	100	200	200	200					900	推薦 外国人 追加合格
	個別学力検査			300	300	300					900	
	計	200	100	500	500	500					1800	
	センター試験	200	100	200	200	200					900	
	個別学力検査								200		200	
	計	200	100	200	200	200			200		1100	
	センター試験	200	100	100	100	200					700	推薦 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査					200					200	
	計	200	100	100	100	400					900	
	センター試験	200	100	100	100	200					700	
	個別学力検査							100	100		200	
	計	200	100	100	100	200		100	100		900	
	センター試験	100	100	200	200	200					800	推薦 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査			＊200		＊200					200	
	計	100	100	200 ＊200	200	200 ＊200					1000	
	センター試験	100	100	200	200	200					800	
	個別学力検査							100	100		200	
	計	100	100	200	200	200		100	100		1000	

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等
工学部 450人 前期285 後期125 ＡＯ　2 その他38	機械物理系学科 115人 前期74 後期37 その他４	前期 ２月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から１ 数Ⅰ・数Ａ（必須） 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ 物理（必須） 化学，生物，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ 物理基礎・物理 英語 １教科選択◆
		後期 ３月12日			※数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ
	電気情報系学科 125人 前期82 後期31 その他12	前期 ２月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から１ 数Ⅰ・数Ａ（必須） 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ 物理（必須） 化学，生物，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ 物理基礎・物理 英語 １教科選択◆
		後期 ３月12日			※数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ
	化学バイオ系学科 100人 前期51 後期39 その他10	前期 ２月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から１ 数Ⅰ・数Ａ（必須） 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ 化学（必須） 物理，生物から１ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ 化学基礎・化学，生物基礎・生物から１ 英語 1教科選択◆
		後期 ３月12日			※数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ
	社会システム土木系学科 110人 前期78 後期18 ＡＯ　2 その他12	前期 ２月25日	国 地歴・公民 数 理 外	国語（必須） 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から１ 数Ⅰ・数Ａ（必須） 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１ 物理（必須） 化学，生物，地学から１ 英，独，仏，中，韓から１ 〔５教科７科目〕	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ 物理基礎・物理 英語 １教科選択◆
		後期 ３月12日			※数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ
		AO １次 ９月22日 ～ ９月30日 ２次 10月21日	大学入試センター試験は課さない		その他	第１次選考（出願書類，面接） 第２次選考（講義等理解力試験，小論文，口頭試問，個人面接）

（注）1．※印を付してある教科は16ページの備考の２を参照してください。

2．◆印を付してある個別学力検査の理科及び外国語は，両教科の受験が可能です。理科及び外国語の両教科を受験した場合は，高得点の教科の成績を用います。

個別学力検査等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の入試方法等
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	面接	実技	配点合計	
	センター試験	100	50	100	150	100					500	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査			200	◆200	◆200					400	
	計	100	50	300	150 ◆200	100 ◆200					900	
	センター試験	100	50	100	200	200					650	
	個別学力検査			200							200	
	計	100	50	300	200	200					850	
	センター試験	100	50	100	100	100					450	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査			200	◆150	◆150					350	
	計	100	50	300	100 ◆150	100 ◆150					800	
	センター試験	100	50	100	200	200					650	
	個別学力検査			200							200	
	計	100	50	300	200	200					850	
	センター試験	100	50	100	200	250					700	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査			200	◆100	◆100					300	
	計	100	50	300	200 ◆100	250 ◆100					1000	
	センター試験	100	50	100	200	250					700	
	個別学力検査			200							200	
	計	100	50	300	200	250					900	
	センター試験	100	50	100	100	100					450	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査			200	◆100	◆100					300	
	計	100	50	300	100 ◆100	100 ◆100					750	
	センター試験	100	50	100	200	200					650	
	個別学力検査			200							200	
	計	100	50	300	200	200					850	
	センター試験	第１次選考及び第２次選考の結果を総合して判断する										
	個別学力検査											
	計											

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">学部・学科等名
及び入学定員等</th><th rowspan="2">学力検査
等の区分・
日程</th><th colspan="2">大学入試センター試験の
利用教科・科目名</th><th colspan="2">個別学力検査等</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th></tr>
<tr><td rowspan="4">農学部

255人
前期140
後期 25
ＡＯ 10
その他 80</td><td rowspan="3">生命環境
農学科

220人
前期110
後期 25
ＡＯ 10
その他 75</td><td>前期

２月25日</td><td rowspan="2">国
地歴・
公民
数

理

外</td><td rowspan="2">国語（必須）
世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，
現社，倫，政経，倫・政経 } から1
数Ⅰ・数Ａ（必須）
数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１
物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２
又は物理，化学，生物，地学から１
英，独，仏，中，韓から１
〔５教科６（７）科目〕</td><td>※数
※理

※外</td><td>数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ
物理基礎・物理，化学基礎・
化学，生物基礎・生物から１
英語 } １教科選択■</td></tr>
<tr><td>後期</td><td colspan="2">個別学力検査等は課さない</td></tr>
<tr><td>ＡＯ
１次
９月22日
～
９月30日
２次
10月21，
22日</td><td colspan="2">大学入試センター試験は課さない</td><td>その他</td><td>第１次選考（出願書類，面接）
第２次選考（課題論文，グループディスカッション，個人面接）</td></tr>
<tr><td>共同獣医
学科

35人
前期30
その他 5</td><td>前期

２月25日</td><td>国
地歴・
公民
数

理
外</td><td>国語（必須）
世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，
現社，倫，政経，倫・政経 } から1
数Ⅰ・数Ａ（必須）
数Ⅱ・数Ｂ（必須）
物理，化学，生物，地学から２
英，独，仏，中，韓から１
〔５教科７科目〕</td><td>※理

※外</td><td>物理基礎・物理，化学基礎・化学，
生物基礎・生物から１
英語</td></tr>
</table>

（注）１．※印を付してある教科は16ページの備考の２を参照してください。
２．配点欄の*印は選択科目を示します。
３．■印の付してある個別学力検査の数学，理科及び外国語は，最大３教科の受験が可能です。
複数教科を受験した場合は，最高得点の教科の成績を用います。

個別学力検査等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の入試方法等
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	面接	実技	配点合計	
	センター試験	200	100	200	200	200					900	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
	個別学力検査			*200	*200	*200					200	
	計	200	100	200 *200	200 *200	200 *200					1100	
	センター試験	200	100	200	200	200					900	
	個別学力検査											
	計	200	100	200	200	200					900	
	センター試験	第１次選考及び第２次選考の結果を総合して判断する										
	個別学力検査											
	計											
	センター試験	200	100	200	200	200					900	推薦 外国人 追加合格
	個別学力検査				200	200					400	
	計	200	100	200	400	400					1300	

備　考

1．大学入試センター試験に関する注意事項

・「地理歴史・公民」で，1科目選択を指定する学部・学科等において２科目受験した場合は，第１解答科目の成績を利用します。

・「数学」で，1科目選択を指定する学部・学科等において２科目受験した場合は，高得点の科目の成績を利用します。

・「理科」の「基礎を付さない科目」で，1科目選択を指定する学部・学科等において２科目受験した場合は，第１解答科目の成績を「基礎を付さない科目」の成績とします。また，「基礎を付した科目」から２科目又は「基礎を付さない科目」から１科目選択する場合において，「基礎を付した科目（２科目の合計点を得点とします。)」及び「基礎を付さない科目」を選択した場合は，高得点の科目を「理科」の成績とします。

・「地理歴史・公民」，「理科」については，志願する学部・学科等の指定する科目を第１解答科目で受験していないと出願できない場合がありますのでご注意ください。

・数学で，「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することが出来る者は，高等学校又は中等教育学校において，これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

・外国語の「英語」には，「英語」の一領域として実施される「リスニング」の成績を含みます。

・地域学部で，複数の教科から１科目選択を指定しているコースにおいて，複数の教科・科目を選択した場合は，それぞれの教科の得点のうち，高得点の教科（科目）の成績を利用します。

・医学部医学科の前期日程において，大学入試センター試験の合計が概ね80％に満たない場合は，合格者となりえないことがあります。

・医学部保健学科看護学専攻において，「理科」で「基礎を付していない科目」から２科目を選択した場合は，２科目の合計点（200点満点）を配点（100点満点）に換算したものを「理科」の成績とします。

2．個別学力検査等に関する注意事項

・「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」は全範囲を出題範囲とします。

・「数学Ｂ」では「数列」，「ベクトル」の２分野を出題範囲とします。

・「物理基礎・物理」は物理基礎，物理の全範囲を出題範囲とします。

・「化学基礎・化学」は化学基礎，化学の全範囲を出題範囲とします。

・「生物基礎・生物」は生物基礎，生物の全範囲を出題範囲とします。

・「英語」は「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を併せて出題します。
出題範囲は以上のとおりです。

3．大学入試センター試験及び個別学力検査の出題教科・科目名は，次のように略しています。

教　科	科　目　名　等
国　語　→　国	
地理歴史・公民　→　地歴・公民	「世界史Ａ」→「世Ａ」，「世界史Ｂ」→「世Ｂ」 「日本史Ａ」→「日Ａ」，「日本史Ｂ」→「日Ｂ」 「現代社会」→「現社」，「倫理」→「倫」，「政治・経済」→「政経」 「倫理，政治・経済」→「倫・政経」
数　学　→　数	「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」，「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」，「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」，「数学Ａ」→「数Ａ」，「数学Ｂ」→「数Ｂ」，「数学Ⅰ・数学Ａ」→「数Ⅰ・数Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」→「数Ⅱ・数Ｂ」， 「簿記・会計」→「簿・会」，「情報関係基礎」→「情報」
理　科　→　理	
外国語　→　外	「英語」→「英」，「ドイツ語」→「独」，「フランス語」→「仏」，「中国語」→「中」， 「韓国語」→「韓」

８．アドミッションオフィス入試

<table>
<tr><td rowspan="3">実施学部・学科等名</td><td colspan="3">地　域　学　部</td></tr>
<tr><td colspan="3">地　域　学　科</td></tr>
<tr><td>地域創造コース</td><td>人間形成コース</td><td>国際地域文化コース</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>１０人</td><td>４人</td><td>６人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td colspan="3">次のいずれかに該当し，合格した場合は入学することを確約できる者

（１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成３０年３月卒業見込みの者
（２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成３０年３月修了見込みの者
（３）学校教育法施行規則第１５０条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成３０年３月３１日までにこれに該当する見込みのある者</td></tr>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="3">（地域創造コース）
●様々な視点から地域を考え，地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
●地域の様々な資源を効果的に活用し，地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人
（人間形成コース）
●教育，保育，心理，教育福祉に高い関心をもち，自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
●地域に住む人々の学習と発達，心身の自立に関わる仕事を強く望む人
（国際地域文化コース）
●様々な文化（言語・文学・考古・歴史・芸術など）に関心があり，文化を通して創造的な地域の発展に貢献したい人
●国際的感性と実践的言語コミュニケーション力を身につけて，多様な文化をもつ人々と関係を構築したい人</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td colspan="3">平成２９年　９　月　１　日（金）～　９　月　６　日（水）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入試方法等</td><td>第１次選考</td><td colspan="2">入学志願票，調査書及び面接により選考を行います。</td></tr>
<tr><td>第２次選考</td><td colspan="2">第１次選考に合格した者に対して，自己表現，課題論文，スクーリング等を課し，面接を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入　試　期　日</td><td>第１次選考
（書類選考
・面接）</td><td colspan="2">面接：平成２９年　９　月２２日（金）～９　月　３０　日（土）
選考結果は，平成２９年１０月１０日（火）に本人宛送付します。</td></tr>
<tr><td>第２次選考
（課題論文
・面接等）</td><td colspan="2">平成２９年１０月２１日（土）・２２日（日）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="3">平成２９年１０月２７日（金）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="3">合格者には，大学生活のスタートを応援するために，２泊３日の「合宿研修」（11月中旬），e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は，合格通知の際にご案内します。</td></tr>
</table>

アドミッションオフィス入試

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td colspan="2">工　　学　　部</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会システム土木系学科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td colspan="2">２人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td colspan="2">次のいずれかに該当し，合格した場合は入学することを確約できる者

（１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成３０年３月卒業見込みの者
（２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成３０年３月修了見込みの者
（３）学校教育法施行規則第１５０条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成３０年３月３１日までにこれに該当する見込みのある者</td></tr>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">●社会や政治，経済に興味があり，新聞や論説をよく読んでいる人
●日本だけでなく，外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味を持つ人
●いろいろな事柄の仕組みについて，過去のしきたりにとらわれずに新たに創造することが好きな人</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td colspan="2">平成２９年　９　月　１　日（金）～　９　月　６　日（水）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入試方法等</td><td>第１次選考</td><td>入学志願票，調査書及び面接により選考を行います。</td></tr>
<tr><td>第２次選考</td><td>第１次選考に合格した者に対して，講義等理解力試験，小論文，基礎学力を問う口頭試問を課し，個人面接を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入　試　期　日</td><td>第１次選考
（書類選考
・面接）</td><td>面接：平成２９年　９　月２２日（金）～　９　月３０　日（土）
選考結果は，平成２９年１０月１０日（火）に本人宛送付します。</td></tr>
<tr><td>第２次選考
（講義等理解力試験・面接等）</td><td>平成２９年１０月２１日（土）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="2">平成２９年１０月２７日（金）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2">入学後の指導の参考にしますので，以下に指定した大学入試センター試験３教科５科目について，可能な限り受験してください。また，自己採点の結果を報告してください。
数　学：数学Ⅰ・数学Ａ（必須）と（数学Ⅱ・数学Ｂ，簿記・会計，情報関係基礎）から１
理　科：物理（必須）と（化学，生物，地学）から１
外国語：英語（リスニング含む）
合格者には，大学生活のスタートを応援するために，２泊３日の「合宿研修」（11月中旬），e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は，合格通知の際にご案内します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td colspan="2">農　　学　　部</td></tr>
<tr><td colspan="2">生命環境農学科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td colspan="2">１０人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td colspan="2">次のいずれかに該当し，合格した場合は入学することを確約できる者

（１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成３０年３月卒業見込みの者
（２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成３０年３月修了見込みの者
（３）学校教育法施行規則第１５０条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成３０年３月３１日までにこれに該当する見込みのある者</td></tr>
<tr><td>求める人物像</td><td colspan="2">チームワーク重視型
生命環境農学科では，特に次の各号に該当する者
（１）自ら積極的に学ぶ姿勢を有する者
（２）傾聴力を有する者
（３）協調性を有する者</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td colspan="2">平成２９年　９　月　１　日（金）～　９　月　６　日（水）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入試方法等</td><td>第１次選考</td><td>入学志願票，調査書及び面接により選考を行います。</td></tr>
<tr><td>第２次選考</td><td>第１次選考に合格した者に対して，課題論文及びグループディスカッションを課し，個人面接（英語等の基礎知識を問う試問を含む。）を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入　試　期　日</td><td>第１次選考
（書類選考
・面接）</td><td>面接：平成２９年　９　月２２日（金）～　９　月３０日（土）
選考結果は，平成２９年１０月１０日（火）に本人宛送付します。</td></tr>
<tr><td>第２次選考
（課題論文
・面接等）</td><td>平成２９年１０月２１日（土）・２２日（日）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="2">平成２９年１０月２７日（金）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2">合格者には，大学生活のスタートを応援するために，２泊３日の「合宿研修」（11月中旬），e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は，合格通知の際にご案内します。</td></tr>
</table>

９．特別の入試方法

（１）推薦入試

①推薦入試Ⅰ

実施学部・学科等名	地　域　学　部
	地域学科地域創造コース
募　集　人　員	４人
出　願　要　件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者（推薦できる者は，１高等学校等につき２人以内とする。） （１）人物，学業成績がともに優れ，地域政策に関心があり，将来，地域づくりにおいてリーダーシップを発揮しようとする意欲がある者 （２）高等学校等の学習成績概評がＡ段階である者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者
入　試　方　法　等	入学者の選抜は，大学入試センター試験を課さず，推薦書，自己推薦書（2,000字以内），調査書，小論文及び面接の結果により総合判定します。
出　願　期　間	平成２９年１１月　１　日（水）～１１月　６　日（月）
入　試　期　日	平成２９年１１月１８日（土）
合　格　発　表　日	平成２９年１１月２７日（月）
そ　の　他	合格者には，大学生活のスタートを応援するために，２泊３日の「合宿研修」，e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は，合格通知の際にご案内します。

推薦入試Ⅰ

実施学部・学科等名	工　　学　　部
	機械物理系学科
募　集　人　員	４人
出　願　要　件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科又は総合学科の工学分野を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （１）人物，学業成績がともに優れ，機械，航空宇宙，ロボティクス，物理工学の学習に熱意のある者 （２）高等学校等の学習成績概評がＡ段階である者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は，大学入試センター試験を課さず，面接（数学，物理等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。
出　願　期　間	平成２９年１１月　１　日（水）～１１月　６　日（月）
入　試　期　日	平成２９年１１月１８日（土）
合 格 発 表 日	平成２９年１１月２７日（月）
そ　の　他	合格者には，大学生活のスタートを応援するために，２泊３日の「合宿研修」，e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は，合格通知の際にご案内します。

推薦入試Ⅰ

実施学部・学科等名	工　　学　　部 電気情報系学科
募　集　人　員	５人
出　願　要　件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科又は総合学科の工学分野を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （１）人物，学業成績がともに優れ，工学（特に電気電子工学あるいは情報工学分野）の学習に熱意のある者 （２）合格した場合は，入学することを確約できる者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は，大学入試センター試験を課さず，面接（数学，物理等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。
出　願　期　間	平成２９年１１月　１　日（水）～１１月　６　日（月）
入　試　期　日	平成２９年１１月１８日（土）
合 格 発 表 日	平成２９年１１月２７日（月）
そ　の　他	合格者には，大学生活のスタートを応援するために，２泊３日の「合宿研修」，e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は，合格通知の際にご案内します。

実施学部・学科等名	工　学　部
	社会システム土木系学科
募　集　人　員	募集方法（A）　３人
	募集方法（B）　４人
出　願　要　件	募集方法（A） 　高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の専門教育を主とする学科及び総合学科のうち，土木に関連する学科・コース等を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （１）人物，学業成績がともに優れ，工学（特に土木工学）の学習に熱意のある者 （２）高等学校等の学習成績概評がA段階である者 （３）合格した場合は，入学することを確約できる者
	募集方法（B） 　高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の普通教育を主とする学科及び総合学科を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （１）人物，学業成績がともに優れ，工学（特に土木工学）の学習に熱意のある者 （２）合格した場合は，入学することを確約できる者
入　試　方　法　等	入学者の選抜は，大学入試センター試験を課さず，面接（英語，国語，物理，数学等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。
出　願　期　間	平成２９年１１月　１　日（水）～１１月　６　日（月）
入　試　期　日	平成２９年１１月１８日（土）
合　格　発　表　日	平成２９年１１月２７日（月）
そ　の　他	理数科，英語科などは，本学部では普通教育を主とする学科とみなします。出願要件に掲げる学科に該当するか不明な場合は，事前に工学部教務係（Tel 0857-31-5186）に照会してください。 合格者には，大学生活のスタートを応援するために，２泊３日の「合宿研修」，e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は，合格通知の際にご案内します。

推薦入試Ⅰ

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td>農　　学　　部</td></tr>
<tr><td>生命環境農学科</td></tr>
<tr><td rowspan="4">募　集　人　員</td><td>募集方法（A）８人</td></tr>
<tr><td>募集方法（B）１５人</td></tr>
<tr><td>募集方法（C）７人以内</td></tr>
<tr><td>募集方法（D）５人以内</td></tr>
<tr><td rowspan="4">出　願　要　件</td><td>下記に規定する高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成２９年３月に卒業した者（平成２８年４月から平成２９年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）及び平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者</td></tr>
<tr><td>募集方法（A）：専門高校対応型
農業，商業，工業等に関する専門教育（「総合的な学習の時間」を含む。）を主とする学科又は総合学科で，専門教育の修得単位数が，２５単位以上の学科の高等学校等の長が責任をもって推薦できる者及び次の各号に該当する者
（１）人物，専門教育に係る成績がともに優れ，食料の生産，生物資源の利活用，食品，農業ビジネス，水資源開発や農地・森林の保全管理などに関係する分野の学習に熱意がある者
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>募集方法（B）：普通科高校対応型
普通科教育を主とする学科又は総合学科（「総合的な学習の時間」を含む専門教育に関する教科・科目の修得単位数が，２５単位未満の学科）の高等学校等の長が責任をもって推薦できる者及び次の各号に該当する者
（１）人物，普通科教育に関する成績がともに優れ，食料の生産や流通，環境保全，生物資源の利活用，食品・創薬などに関係する分野の学習に熱意がある者
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>募集方法（C）：グローバル志向重視型
平成３０年度農学部推薦入試Ⅰの募集方法（A）又は募集方法（B）に出願する者で，次の各号に該当し，英語能力を含め高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
（１）様々なフィールドでグローバルに活躍することを目指す者
（２）以下の英語能力のいずれかを有する者（平成２７年１１月１５日以降に受験したものとする。）
①実用英語技能検定試験（英検）　２級以上
②ＴＯＥＩＣ　５００点以上
③ＴＯＥＦＬ　ＰＢＴ　５００点以上
④ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴ　６１点以上
⑤ＧＴＥＣ　ｆｏｒ　ＳＴＵＤＥＮＴＳ　６００点以上
⑥ＧＴＥＣ　ＣＢＴ　８８０点以上
（３）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
</table>

出　願　要　件	募集方法（D）：リーダーシップ重視型又は積極的活動重視型 　平成３０年度農学部推薦入試Ⅰの募集方法（A）又は募集方法（B）に出願する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）高等学校在学中に正課外のスポーツ等の課外活動において，中心的な役割を担うなど活躍することで，全国大会，ブロック大会，都道府県大会等において優秀な実績を残すことに顕著に貢献し，今後も意欲的に様々な活動をする意思をもつ者 （2）合格した場合は，入学することを確約できる者
入　試　方　法　等	募集方法（A）（B）（C）（D） 入学者の選抜は，大学入試センター試験を課さず，面接（英語等の基礎知識を問う試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。
出　願　期　間	平成２９年１１月　１　日（水）～１１月　６　日（月）
入　試　期　日	平成２９年１１月１８日（土）
合　格　発　表　日	平成２９年１１月２７日（月）
そ　の　他	理数科，英語科などは，本学部では普通教育を主とする学科とみなします。出願要件に掲げる学科に該当するか不明な場合は，事前に農学部教務係（Tel 0857-31-5346）に照会してください。 合格者には，大学生活のスタートを応援するために，２泊３日の「合宿研修」，e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は，合格通知の際にご案内します。

※募集方法（C）または（D）の合否判定は，（C）または（D）を優先して行い，（C）または（D）で合格者とならなかった場合，それぞれ（A），（B）としての選抜の対象となります。なお，（C）と（D）の併願はできません。
※募集方法（C）に出願する者は，英検，TOEIC，TOEFL，GTECのいずれかの英語能力を判定できる資料を，必ず提出してください。
※募集方法（D）に出願する者は，個人競技又は団体競技等は問いませんが，出願にあたっては以下のことがわかるように顧問教諭等の指導者の所見（様式自由）を提出してください。

1. 所属していたクラブの部員数
2. 所属していたクラブの実績
3. 所属していたクラブ内での出願者の実績や役割，クラブの実績との関連性
4. 出願者の長所・短所
5. 出願者の将来性

②推薦入試Ⅱ

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td>地　域　学　部</td></tr>
<tr><td>地域学科国際地域文化コース</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>６人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験のうち，本コースが定めた所定の全教科・科目を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
（１）人物，学業成績がともに優れ，以下のいずれかに該当する者
ａ．言語・文学・考古・歴史を軸に日本の文化を学びたい人
ｂ．グローバルな感覚をもって語学力や現地感覚を身につけたい人
ｃ．様々な文化・芸術に関心をもち，クリエイティヴな力を高め活かしたい人
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>入　試　方　法　等</td><td>入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，推薦書，自己推薦書（2,000字以内），調査書及び面接（自己表現を含む。）の結果により総合判定します。
<table>
<tr><td colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</td></tr>
<tr><td>教　科</td><td>科　目　名　等</td></tr>
<tr><td>国</td><td>国語（必須）</td></tr>
<tr><td>地歴・公民</td><td>世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経</td></tr>
<tr><td>数</td><td>数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報</td></tr>
<tr><td>理</td><td>物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２
又は物理，化学，生物，地学から１</td></tr>
<tr><td>外</td><td>英，独，仏，中，韓から１</td></tr>
<tr><td></td><td>〔３教科３（４）科目〕</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td rowspan="2">から１
又は２</td></tr>
<tr></tr>
</table>
※１６ページの備考１を参照してください。
<table>
<tr><td rowspan="2">試験の区分</td><td colspan="7">教　科　等</td><td rowspan="2">合計</td><td rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td>国語</td><td>地歴・公民</td><td>数学</td><td>理科</td><td>外国語</td><td>面接</td><td>計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td>*100</td><td>*100</td><td>*100</td><td>200</td><td></td><td>500</td><td rowspan="2">800</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>300</td><td>300</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>平成３０年　１　月１６日（火）～　１　月１９日（金）</td></tr>
<tr><td>入　試　期　日</td><td>平成３０年　２　月　３　日（土）</td></tr>
<tr><td>合　格　発　表　日</td><td>平成３０年　２　月　７　日（水）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td>医　　学　　部</td></tr>
<tr><td>医　　学　　科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>１５人（地域枠５人以内を含む。）
「特別養成枠（募集人員５人）」を申請予定</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出　願　要　件</td><td>一般枠
高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成30年３月卒業見込みの者（平成29年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成30年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成30年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，人物が優秀で，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者

（１）医学に興味を持ち，人物が優秀で，高等学校等の学習成績概評がＡ段階に属する者
ただし，推薦できる者は，１高等学校等につき４人以内とする。(注)
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>地域枠
鳥取県内の高等学校を平成29年３月に卒業した者（平成28年４月から平成29年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び平成30年３月卒業見込みの者（平成29年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，かつ，平成30年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，人物が優秀で，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち，高等学校長が責任をもって推薦できる者

（１）医学に興味を持ち，人物が優秀で，高等学校の学習成績概評がＡ段階に属する者
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者
（３）推薦できる人数
１高等学校５人以内
（内訳）
卒業見込者：一般枠を含め４人以内 (注)
既卒者：１人以内</td></tr>
<tr><td>特別養成枠（申請予定）
鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」（※）の決定を受けている者で，高等学校を平成28年３月及び平成29年３月に卒業した者（平成27年４月から平成29年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）並びに平成30年３月卒業見込みの者（平成29年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，かつ，平成30年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，将来，鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち，高等学校長が責任をもって推薦できる者
（１）医学に興味を持ち，人物・学力が優秀な者
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者
（３）推薦できる人数
卒業見込者：１高等学校につき一般枠を含め４人以内 (注)
既卒者（専願）：推薦人数の制限はない
※「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」については，鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課医療人材確保室（TEL（0857）26-7195）までお問い合わせください。</td></tr>
</table>

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員５人）」を申請予定です。
予定であり，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

推薦入試Ⅱ

入試方法等

入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合判定します。

大学入試センター試験の利用教科・科目名	
教　科	科　目　名　等
国	国語（必須）
地歴・公民	世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ，倫・政経 から１
数	数Ⅰ・数Ａ（必須） 数Ⅱ・数Ｂ（必須）
理	物理，化学，生物から２
外	英，独，仏から１
	〔５教科７科目〕

※１６ページの備考１を参照してください。

試験の区分	教科等							合計	備考
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	計		
センター試験	200	100	200	200	200		900	1,000	
個別試験						100	100		

出願期間　平成２９年１２月１１日（月）～１２月１５日（金）

入試期日　平成３０年　２　月　３　日（土）

合格発表日　平成３０年　２　月　７　日（水）

その他

・高等学校の卒業年月と出願区分については，以下のとおりです。（特別養成枠は申請予定）

卒業年月＼出願区分	一般枠	地域枠（鳥取県内の高等学校に限る）	特別養成枠
平成２９年４月～平成３０年３月（卒業見込み）	○	○	○
平成２８年４月～平成２９年３月	×	○	○
平成２７年４月～平成２８年３月	×	×	○

※特別養成枠が認められた場合。

・地域枠と特別養成枠の併願はできません。
・卒業見込者で，「一般枠と地域枠の両方」及び「一般枠と特別養成枠の両方」の区分で出願した者は，それぞれ「地域枠」及び「特別養成枠」を優先して選抜し，「地域枠」及び「特別養成枠」で合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象となります。
・鳥取県には，地域枠及び特別養成枠推薦入学者を対象とした奨学金制度が設けられています。

（注）各高等学校で卒業見込者の推薦できる人数に関して「一般枠を含め４人以内」とあるのは，一般枠，地域枠，特別養成枠の人数を合計したものである。

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員５人）」を申請予定です。
予定であり，変更があり得ますので，学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td>医　学　部</td></tr>
<tr><td>生命科学科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>５人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者

（１）生命科学に興味を持ち，人物・学力が優秀な者
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>入　試　方　法　等</td><td>入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合判定します。
<table>
<tr><td colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</td></tr>
<tr><td>教　科</td><td>科　目　名　等</td></tr>
<tr><td>国</td><td>国語（必須）</td></tr>
<tr><td>地歴・公民</td><td>世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から１</td></tr>
<tr><td>数</td><td>数Ⅰ・数Ａ（必須）
数Ⅱ・数Ｂ（必須）</td></tr>
<tr><td>理</td><td>物理，化学，生物から２</td></tr>
<tr><td>外</td><td>英，独，仏から１
〔５教科７科目〕</td></tr>
</table>
※１６ページの備考１を参照してください。
センター試験の数学・理科・外国語の合計が概ね70％に満たない場合は，合格者となりえないことがあります。
<table>
<tr><td rowspan="2">試験の区分</td><td colspan="7">教　科　等</td><td rowspan="2">合計</td><td rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td>国語</td><td>地歴・公民</td><td>数学</td><td>理科</td><td>外国語</td><td>面接</td><td>計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td>900</td><td rowspan="2">1,100</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>平成３０年　１　月１６日（火）～　１　月２２日（月）</td></tr>
<tr><td>入　試　期　日</td><td>平成３０年　２　月　３　日（土）</td></tr>
<tr><td>合　格　発　表　日</td><td>平成３０年　２　月　７　日（水）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td></td></tr>
</table>

推薦入試Ⅱ

<table>
<tr><td>実施学部・学科等名</td><td colspan="2">医　学　部
保健学科看護学専攻</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td colspan="2">２５人（地域枠１０人以内を含む。）</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>一般枠
高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者

（1）次のいずれかに該当する者（なお，bに該当する者をａで推薦することはできません。）

ａ．医療に興味を持ち，人物・学力が優秀な者
ただし，推薦できる者は，１高等学校等につき５人以内とする。

ｂ．看護学の修得に熱意を持ち，人物・学力が優秀で，高等学校等の看護に関する学科（衛生看護科）の科目を修得した者
ただし，推薦できる者は，１高等学校等につき１人以内とする。

（2）合格した場合は，入学することを確約できる者</td><td>地域枠
将来，鳥取県内において看護職員（看護師・助産師・保健師）又は看護教員としてその業務に従事しようとする者で，原則として鳥取県内の高等学校を平成２９年３月に卒業した者（平成２８年４月から平成２９年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校長が責任をもって推薦できる者

（1）次のいずれかに該当する者（なお，bに該当する者をａで推薦することはできません。）

ａ．医療に興味を持ち，人物・学力が優秀な者
ただし，推薦できる者は，１高等学校につき６人以内とする。
（内訳）
卒業見込者：一般枠を含め５人以内
既卒者：１人以内

ｂ．看護学の修得に熱意を持ち，人物・学力が優秀で，高等学校の看護に関する学科（衛生看護科）の科目を修得した者
ただし，推薦できる者は，１高等学校につき１人以内とする。

（2）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>入　試　方　法　等</td><td colspan="2">入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，小論文及び面接の結果により総合判定します。

大学入試センター試験の利用教科・科目名
教　科 ／ 科　目　名　等
国 ／ 国語（必須）
地歴・公民 ／ 世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から１
数 ／ 数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報　から１
理 ／ 物理基礎，化学基礎，生物基礎から２
又は物理，化学，生物から２
外 ／ 英，独，仏から１
〔５教科６科目〕

※１６ページの備考１を参照してください。

試験の区分 ／ 教科等：国語，地歴･公民，数学，理科，外国語，小論文，面接，計 ／ 合計 ／ 備考
センター試験 ／ 200，100，100，100，200，，，700 ／ 900 ／
個別試験 ／ ，，，，，100，100，200 ／ ／</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td colspan="2">平成２９年１２月１１日（月）～１２月１５日（金）</td></tr>
<tr><td>入　試　期　日</td><td colspan="2">平成３０年　２　月　３　日（土）</td></tr>
<tr><td>合　格　発　表　日</td><td colspan="2">平成３０年　２　月　７　日（水）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2">・鳥取県内高等学校の既卒者は「地域枠」のみ，卒業見込者については「一般枠」，「地域枠」及び「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願できます。
・「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した者は「地域枠」を優先して選抜し，「地域枠」で合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象になります。
・鳥取県には，地域枠推薦入学者を対象とした奨学金が設けられています。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td>医　学　部</td></tr>
<tr><td>保健学科検査技術科学専攻</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>１０人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者

（１）医療に興味を持ち，人物・学力が優秀な者
ただし，推薦できる者は，１高等学校等につき２人以内とする。
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>入　試　方　法　等</td><td>入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，小論文及び面接の結果により総合判定します。
<table>
<tr><td colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</td></tr>
<tr><td>教　科</td><td>科　目　名　等</td></tr>
<tr><td>国</td><td>国語（必須）</td></tr>
<tr><td>地歴・公民</td><td>世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から１</td></tr>
<tr><td>数</td><td>数Ⅰ・数Ａ（必須）
数Ⅱ・数Ｂ（必須）</td></tr>
<tr><td>理</td><td>物理，化学，生物から２</td></tr>
<tr><td>外</td><td>英，独，仏から１</td></tr>
<tr><td></td><td>〔５教科７科目〕</td></tr>
</table>
※１６ページの備考１を参照してください。
<table>
<tr><td rowspan="2">試験の区分</td><td colspan="8">教　科　等</td><td rowspan="2">合計</td><td rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td>国語</td><td>地歴･公民</td><td>数学</td><td>理科</td><td>外国語</td><td>小論文</td><td>面接</td><td>計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td></td><td>800</td><td rowspan="2">1,000</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>平成２９年１２月１１日（月）～１２月１５日（金）</td></tr>
<tr><td>入　試　期　日</td><td>平成３０年　２　月　３　日（土）</td></tr>
<tr><td>合　格　発　表　日</td><td>平成３０年　２　月　７　日（水）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td></td></tr>
</table>

推薦入試Ⅱ

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td>工　　学　　部</td></tr>
<tr><td>電気情報系学科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>７人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者又は平成３０年３月卒業見込みの者（高等専門学校第３学年修了者又は平成３０年３月修了見込みの者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験のうち，本学科が定めた所定の全教科・科目を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者

（１）人物，学業成績がともに優れ，工学の学習に熱意のある者
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>入　試　方　法　等</td><td>入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，面接（基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。
<table>
<tr><td colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</td></tr>
<tr><td>教　科</td><td>科　　目　　名　　等</td></tr>
<tr><td>数

理

外</td><td>数Ⅰ・数Ａ（必須）
数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１
物理（必須）
化学，生物，地学から１
英，独，仏，中，韓から１
〔３教科５科目〕</td></tr>
</table>
※１６ページの備考１を参照してください。
<table>
<tr><td rowspan="2">試験の区分</td><td colspan="8">教　科　等</td><td rowspan="2">合計</td><td rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td>国語</td><td>地歴・公民</td><td>数学</td><td>理科</td><td>外国語</td><td>面接</td><td>調査書・推薦書</td><td>計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td></td><td>300</td><td rowspan="2">600</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>100</td><td>300</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>平成３０年　１　月１６日（火）～　１　月１９日（金）</td></tr>
<tr><td>入　試　期　日</td><td>平成３０年　２　月　２　日（金）</td></tr>
<tr><td>合　格　発　表　日</td><td>平成３０年　２　月　７　日（水）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td></td></tr>
</table>

実施学部・学科等名	工　学　部 化学バイオ系学科
募　集　人　員	１０人
出　願　要　件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験のうち，本学科が定めた所定の全教科・科目を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （１）人物，学業成績がともに優れ，工学（特に化学，バイオテクノロジー）の学習に熱意のある者 （２）合格した場合は，入学することを確約できる者
入　試　方　法　等	入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，面接（数学・化学等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。

大学入試センター試験の利用教科・科目名

教　科	科　目　名　等
国	国語（必須）
地歴・公民	世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 から１
数	数Ⅰ・数Ａ（必須） 数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１
理	化学（必須） 物理，生物から１
外	英，独，仏，中，韓から１
	〔５教科７科目〕

※１６ページの備考１を参照してください。

試験の区分	教科等								合計	備考
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	調査書・推薦書	計		
センター試験	100	50	100	200	250			700	1,000	
個別試験						250	50	300		

出　願　期　間	平成３０年　１　月１６日（火）～　１　月１９日（金）
入　試　期　日	平成３０年　２　月　２　日（金）
合　格　発　表　日	平成３０年　２　月　７　日（水）
そ　の　他	

推薦入試Ⅱ

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td>工　　学　　部</td></tr>
<tr><td>社会システム土木系学科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>５人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験のうち，本学科が定めた所定の全教科・科目を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
（１）人物，学業成績がともに優れ，工学（特に経営工学）の学習に熱意のある者
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>入　試　方　法　等</td><td>入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，面接及び出願書類により総合判定します。
<table>
<tr><td colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</td></tr>
<tr><td>教　科</td><td>科　　目　　名　　等</td></tr>
<tr><td>国</td><td>国語（必須）</td></tr>
<tr><td>地歴・公民</td><td>世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 } から１</td></tr>
<tr><td>数</td><td>数Ⅰ・数Ａ（必須）
数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１</td></tr>
<tr><td>理</td><td>物理（必須）
化学，生物，地学から１</td></tr>
<tr><td>外</td><td>英，独，仏，中，韓から１</td></tr>
<tr><td></td><td>〔５教科７科目〕</td></tr>
</table>
※１６ページの備考１を参照してください。
<table>
<tr><td rowspan="2">試験の区分</td><td colspan="8">教　科　等</td><td rowspan="2">合計</td><td rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td>国語</td><td>地歴・公民</td><td>数学</td><td>理科</td><td>外国語</td><td>面接</td><td>調査書・推薦書</td><td>計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>100</td><td>50</td><td>200</td><td>200</td><td>100</td><td></td><td></td><td>650</td><td rowspan="2">800</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>50</td><td>150</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>平成３０年　１　月１６日（火）～　１　月１９日（金）</td></tr>
<tr><td>入　試　期　日</td><td>平成３０年　２　月　２　日（金）</td></tr>
<tr><td>合　格　発　表　日</td><td>平成３０年　２　月　７　日（水）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td>農　　学　　部</td></tr>
<tr><td>生命環境農学科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>４０人（地域貢献型５人程度を含む）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出　願　要　件</td><td>募集方法（A）：課題探求型
　高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成２９年３月に卒業した者（平成２８年４月から平成２９年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）及び平成３０年３月卒業見込みの者（平成２９年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者
（１）食料の生産や流通，環境保全，生物資源の利活用，食品・創薬などに関係する分野における課題探求に熱意のある者で次のいずれかに該当する者
　ａ．高等学校の学習における特定の教科・科目に関する秀でた能力を有する者
　ｂ．人物が優れている者
（２）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>募集方法（B）：地域貢献型
　上記募集方法（A）「課題探求型」の出願要件を満たす者で，地域の活性化に貢献しようとする強い意思を有する者</td></tr>
<tr><td>入　試　方　法　等</td><td>入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，小論文（地域貢献型出願者のみ）及び面接（科学の一般常識を問う試問を含む。）の結果により総合判定します。
<table>
<tr><td colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</td></tr>
<tr><td>教　科</td><td>科　　目　　名　　等</td></tr>
<tr><td>国</td><td>国語（近代以降の文章）</td></tr>
<tr><td>地歴・公民</td><td>世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経</td></tr>
<tr><td>数</td><td>数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報</td></tr>
<tr><td colspan="2">から１</td></tr>
<tr><td>理</td><td>物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から２又は物理，化学，生物，地学から１</td></tr>
<tr><td>外</td><td>英，独，仏，中，韓から１　　〔３教科３（４）科目〕</td></tr>
</table>
※１６ページの備考１を参照してください。</td></tr>
</table>

推薦入試Ⅱ

<table>
<tr><td>入試方法等</td><td>
<table>
<tr><th rowspan="2">学科</th><th rowspan="2">試験の区分</th><th colspan="8">教科等</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>国語</th><th>地歴・公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>小論文</th><th>面接・調査書・推薦書</th><th>計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">生命環境農学科(A)</td><td>センター試験</td><td>*100</td><td>*100</td><td>*100</td><td>100</td><td>200</td><td></td><td></td><td>400</td><td rowspan="2">600</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生命環境農学科(B)</td><td>センター試験</td><td>*50</td><td>*50</td><td>*50</td><td>50</td><td>100</td><td></td><td></td><td>200</td><td rowspan="2">600</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td><td>400</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td>平成３０年 １ 月１６日（火）～ １ 月１９日（金）</td></tr>
<tr><td>入試期日</td><td>平成３０年 ２ 月 ３ 日（土），４ 日（日）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td>平成３０年 ２ 月 ７ 日（水）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td></td></tr>
</table>

※募集方法（B）「地域貢献型」の合否判定は，（B）を優先して行い，（B）で合格者とならなかった場合，（A）「課題探求型」としての選抜の対象となります。

<table>
<tr><td rowspan="2">実施学部・学科等名</td><td>農　学　部</td></tr>
<tr><td>共同獣医学科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>５人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成３０年３月卒業見込みの者，あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，平成３０年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，平成３０年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者

（１）人物及び学力が優秀であり，獣医学に強い関心を持つ者
（２）獣医学を学ぶ強い意欲と，６年間の修学を継続する強い意志を持つ者
（３）獣医師の社会的役割を十分に理解し，かつ，高いコミュニケーション能力を備える者
（４）合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>入　試　方　法　等</td><td>入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，小論文及び面接（科学の一般常識を問う試問を含む。）の結果により総合判定します。
<table>
<tr><td colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</td></tr>
<tr><td>教　科</td><td>科　目　名　等</td></tr>
<tr><td>国
地歴・公民
数

理
外</td><td>国語（必須）
世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現社，倫，政経，倫・政経 } から１
数Ⅰ・数Ａ（必須）
数Ⅱ・数Ｂ（必須）
物理，化学，生物，地学から２
英，独，仏，中，韓から１
〔５教科７科目〕</td></tr>
</table>
※１６ページの備考１を参照してください。
<table>
<tr><td rowspan="2">試験の区分</td><td colspan="8">教　科　等</td><td rowspan="2">合計</td><td rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td>国語</td><td>地歴・公民</td><td>数学</td><td>理科</td><td>外国語</td><td>小論文</td><td>面接・調査書・推薦書</td><td>計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td></td><td>900</td><td rowspan="2">2,750</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>800</td><td>1,050</td><td>1,850</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>平成２９年１２月１１日（月）～ １２月１５日（金）</td></tr>
<tr><td>入　試　期　日</td><td>平成３０年 ２ 月 ３ 日（土），４ 日（日）</td></tr>
<tr><td>合　格　発　表　日</td><td>平成３０年 ２ 月 ７ 日（水）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td></td></tr>
</table>

（２）帰国子女特別入試

実施学部・学科等名	地域学部　地域学科全コース 工 学 部　全学科 農 学 部　生命環境農学科
募　集　人　員	若　干　名
出　願　要　件	日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で，保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で，次の⑴～⑻のいずれかに該当する者。 ⑴　外国において，学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成28年４月１日から平成30年３月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者。ただし，12年の課程のうち，少なくとも外国において最後の２学年を継続して学校教育を受けていること（外国に設置されたものであっても，日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については，その期間を，外国において学校教育を受けたものとはみなさない。） ⑵　外国において，学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に，平成28年又は平成29年に合格した者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者。 ⑶　外国において，高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを平成28年４月１日から平成30年３月31日までに修了した者及び修了見込みの者。ただし，11年の課程のうち，少なくとも外国において最後の２学年を継続して学校教育を受けていること。 ⑷　外国において，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成28年又は平成29年に授与された者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者。 ⑸　外国において，ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成28年又は平成29年に授与された者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者。 ⑹　外国において，フランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格証書を平成28年又は平成29年に授与された者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者。 ⑺　外国において，グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を平成28年又は平成29年に授与された者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者。 ⑻　外国において，国際的な評価団体（WASC，CIS，ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成28年４月１日から平成30年３月31日までに修了した者及び修了見込みの者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者。ただし，12年の課程のうち，少なくとも外国において最後の２学年を継続して学校教育を受けていること。
入　試　方　法　等	入学者の選抜は，大学入試センター試験を課さず，出願書類，小論文の成績及び面接（工学部は基礎学力に関する試問を含む。）の結果により総合判定します。
出　願　期　間	平成２９年１２月１１日（月）～１２月１５日（金）
入　試　期　日	(工学部)平成３０年　２　月　２　日(金)，(地域学部)　３　日(土) (農学部)　３　日(土)，４　日(日)
合　格　発　表　日	平成３０年　２　月　７　日（水）
そ　の　他	

（3）社会人特別入試

実施学部・学科等名	地域学部　地域学科全コース 工 学 部　全学科 農 学 部　生命環境農学科
募　集　人　員	若　干　名
出　願　要　件	平成３０年３月３１日までに満２３歳に達し，社会人としての経験を５年以上有する者で，次のいずれかに該当する者 （1）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成３０年３月卒業見込みの者 （2）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成３０年３月修了見込みの者 （3）学校教育法施行規則第１５０条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成３０年３月３１日までにこれに該当する見込みの者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は，大学入試センター試験を課さず，出願書類，小論文の成績及び面接（工学部は基礎学力に関する試問を含む。）の結果により総合判定します。
出　願　期　間	平成２９年１２月１１日（月）～１２月１５日（金）
入　試　期　日	(工学部)平成３０年　２　月　２　日(金),(地域学部)　３　日(土) (農学部)　３　日(土)，４　日(日)
合 格 発 表 日	平成３０年　２　月　７　日（水）
そ　の　他	

社会人特別入試

実施学部・学科等名	医 学 部　保健学科
募　集　人　員	若　干　名
出　願　要　件	平成３０年３月３１日までに満２３歳に達し，社会人としての経験を３年以上有する者で，次のいずれかに該当する者 （１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成３０年３月卒業見込みの者 （２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成３０年３月修了見込みの者 （３）学校教育法施行規則第１５０条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成３０年３月３１日までにこれに該当する見込みの者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は，大学入試センター試験を課さず，出願書類，小論文の成績及び面接（基礎学力に関する試問を含む。）の結果により総合判定します。
出　願　期　間	平成２９年１２月１１日（月）～１２月１５日（金）
入　試　期　日	平成３０年 ２ 月 ３ 日（土）
合 格 発 表 日	平成３０年 ２ 月 ７ 日（水）
そ　の　他	

10．私費外国人留学生入試

（1）募 集 人 員

全学部全学科　　若 干 名

（注）志望は，いずれか一つの学部，学科に限ります。

（2）出 願 資 格

日本国籍を有しない者で，次の⑴～⑹のいずれかに該当し，かつ，日本学生支援機構が実施する**平成29年度日本留学試験**を受験している者

⑴　外国において，学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年３月31日までに修了見込みの者，又はこれに準ずる者で，文部科学大臣の指定した者

⑵　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者

⑶　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を授与された者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者

⑷　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を授与された者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者

⑸　グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者

⑹　外国において，国際的な評価団体（WASC，CIS，ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び平成30年３月31日までに修了見込みの者で，平成30年３月31日までに18歳に達する者

（3）入 試 方 法

大学入試センター試験を課さず，学力検査等の成績，日本留学試験の成績を総合して判定します。

（学力検査等及び日本留学試験の科目は，次ページの（７）**「日本留学試験の試験区分の指定及び学力検査科目等」**を参照してください。）

（4）入 試 期 日

平成３０年　２　月２５日（日）

（5）出 願 期 間

平成３０年１月２２日（月）から１月３１日（水）まで（必着）

出願書類等を郵送する場合は，必ず書留速達とし，１月３１日（水）までに必着となるように郵送してください。これ以降に到着した場合は，次の場合に限り受け付けますので，郵便事情を十分考慮して発送してください。

・国内から郵送の場合，１月３０日（火）以前の発信局消印があるもの

・海外から郵送の場合，１月２８日（日）以前の発信局消印があるもの

出願書類等を持参する場合は，９時から１７時まで受け付けます。ただし，土曜日，日曜日は受け付けません。

（6）そ　の　他

受験に関する照会は，入試課及び志望する学部の教務係（医学部は学務課教育企画係）あてに郵便によって行ってください。

なお，その際は，郵便番号，住所，氏名を明記し，郵便切手を貼った返信用封筒を同封してください。

「日本留学試験」については，下記へ照会してください。

独立行政法人　日本学生支援機構（留学生事業部留学試験課）
所在地　〒153－8503　東京都目黒区駒場4－5－29
電　話　(03) 6407－7457
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http : //www. jasso. go. jp/

（7）日本留学試験の試験区分の指定及び学力検査科目等

学部	学科等		日本留学試験			個別学力試験	備考
			受験科目	出題言語	成績利用		
地域学部	地域学科	地域創造コース	日本語 総合科目 数学（コース１又はコース２）	日本語	６月/11月	小論文（日本語による） 面　接	
		人間形成コース	日本語 総合科目	日本語 又は 英　語	６月/11月		
		国際地域文化コース	日本語 総合科目	日本語 又は 英　語	６月/11月		
医学部	医学科 生命科学科		日本語 数学（コース２） 理科（物理，化学，生物から２科目）	日本語	11月	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 理科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物） 面接	
	保健学科		日本語 数学（コース１又はコース２） 理科（物理，化学，生物から2科目）	日本語	11月	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 面接	
工学部	全学科		日本語 数学（コース２） 理科（物理，化学，生物から2科目）	日本語	６月/11月	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 面接（基礎学力に関する試問を含む。）	
農学部	全学科		日本語 数学（コース２） 理科（物理，化学，生物から２科目）	日本語	６月/11月	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 面接	

（注）個別学力試験の「数学」及び「英語」の試験問題は，一般入試と同じものです。16ページの備考２を参照してください。

11．学生募集要項の発表・請求方法等

(1) 発 表 時 期

平成３０年度入学者選抜に関する細目を記載した「平成３０年度鳥取大学学生募集要項」の配付予定は次のとおりです。

① 一　般　入　試 …… １１月上旬
② アドミッションオフィス入試 …… ７月中旬
③ 推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱ …… ９月上旬
④ 特別入試（帰国子女，社会人）
　及び私費外国人留学生入試 …… １０月上旬

(2) 請 求 方 法

１．テレメールで請求する場合（インターネット・自動音声応答電話）

スマホ・ケータイで左のＱＲコードからアクセスした場合，資料請求番号の入力は不要。

①パソコン・スマホ・ケータイ(http://telemail.jp)又はＩＰ電話(050-8601-0101)をご利用ください。

※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも３分毎に約12円です。

②資料請求番号（６桁）を入力又はプッシュしてください。

資　料　名	資料請求番号	料金(送料含む)
一般入試学生募集要項＋大学案内	５４６００２	３００円
一般入試学生募集要項のみ	５８５９０２	２５０円
大学案内のみ	５６５９０２	２５０円
アドミッションオフィス入試学生募集要項＋大学案内	５４６０１２	２５０円
推薦入試Ⅰ学生募集要項（センターを課さない）＋大学案内	５４８６０２	２５０円
推薦入試Ⅱ学生募集要項（センターを課す）＋大学案内	５４８６１２	２５０円
特別入試学生募集要項（帰国子女・社会人第１年次）＋大学案内	５４８６２２	２５０円
私費外国人留学生募集要項＋大学案内	５４８６３２	２５０円

③あとはガイダンスに従って登録してください。

＊　受付から１～２日後に送付されます。（ただし，受付時間や地域，配達事情によっては３日以上かかる場合もあります。）なお，発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり，発送開始日に一斉に発送されます。
＊　料金は，お届けした資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従いお支払いください。
＊　自動音声応答電話によるご請求の場合，住所，氏名の登録時は，ゆっくりはっきりとお話しください。登録された音声が不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

【テレメールを利用した請求についての問い合わせ先】
テレメールカスタマーセンター　ＩＰ電話050-8601-0102（受付９：30～18：00）

２．モバっちょで請求する場合

パソコン又は携帯電話・スマートフォンからhttp://djc-mb.jp/toridai3/ にアクセスして資料請求してください。

資　　料　　名	送　　料
一般入試学生募集要項（願書含む）	２００円
アドミッションオフィス入試学生募集要項	２００円
推薦入試Ⅰ学生募集要項	２００円
推薦入試Ⅱ学生募集要項	２００円
大学案内のみ	２００円
地域学部案内	２００円
医学部案内	２００円
工学部案内	２００円
農学部案内	２００円
一般入試学生募集要項（願書含む）＋大学案内	３００円
一般入試学生募集要項（３冊セット）〔宅配発送（送料込）〕	８２０円
一般入試学生募集要項（５冊セット）〔宅配発送（送料込）〕	１，１００円

●資料請求料金をクレジットカード，又は携帯電話・スマートフォンの通話料金と一緒に支払えます。（支払手数料は別途50円必要です。）
※携帯電話・スマートフォンの機種，携帯電話会社との契約状況によって，通話料金と一緒に支払いできない場合があります。

●コンビニ後払いでの支払いも可能です。（支払手数料は別途126円必要です。）

【モバっちょを利用した請求についての問い合わせ先】
モバっちょカスタマーセンター　電話050-3540-5005（平日10：00～18：00）

３．大学へ直接請求する場合

①直接入手を希望する場合は，窓口（入試課ほか）でお渡しします。（次ページ（３）参照）

②郵送による請求の場合は，**300円切手（速達の場合は620円切手）**を貼り，郵便番号，住所，氏名を明記した返信用封筒（角型２号 24ｃｍ×33.2ｃｍ）を同封のうえ請求してください。
なお，投函する封筒の表面に請求する資料の名称を**「●●入試学生募集要項請求」**と朱書してください。
（一般入試学生募集要項と大学案内を併せて請求する場合は，350円切手（速達の場合は670円切手）を貼り，投函する封筒の表面に「一般入試＋大学案内請求」と朱書してください。）

③国外から請求する場合は，400ｇ料金相当の国際返信切手券を同封のうえ，請求してください。

④返信用封筒のない場合又は切手不足の場合は，送付しないことがありますので十分注意してください。

（3）募集要項の請求及び照会先

入　試　課	〒680-8550	鳥取市湖山町南４丁目101番地	電話（0857）31-5061
地域学部　教務係	〒680-8551		電話（0857）31-5077
工　学　部　教務係	〒680-8552		電話（0857）31-5186
農　学　部　教務係	〒680-8553		電話（0857）31-5346
医　学　部　学務課教育企画係	〒683-8503	米子市西町86番地	電話（0859）38-7096

12．入学者選抜試験個人成績の開示について

本学では，平成３０年度入学者選抜試験に係る一般入試受験者の個人成績については，本人から申請のあった場合に限り開示します。

なお，詳細については平成２９年１１月上旬に公表を予定している「平成３０年度一般入試学生募集要項」で発表します。

また，開示する入試情報は，一般入試のみであり，アドミッションオフィス入試，特別入試（推薦入試，帰国子女入試，社会人入試）及び私費外国人留学生入試については開示しません。

13．鳥取大学の紹介（大学案内・入試情報）について

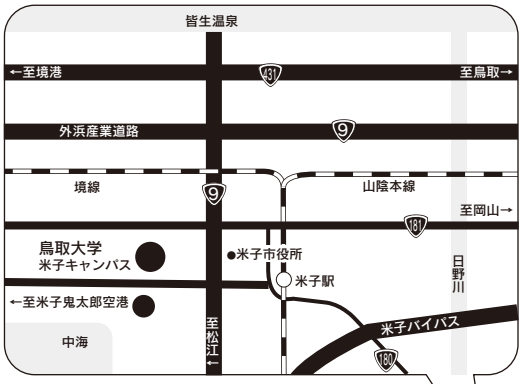
大学案内及び入学試験に関する情報等については，ホームページ，携帯電話サイトを開設しています。

◎ホームページアドレス　http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/

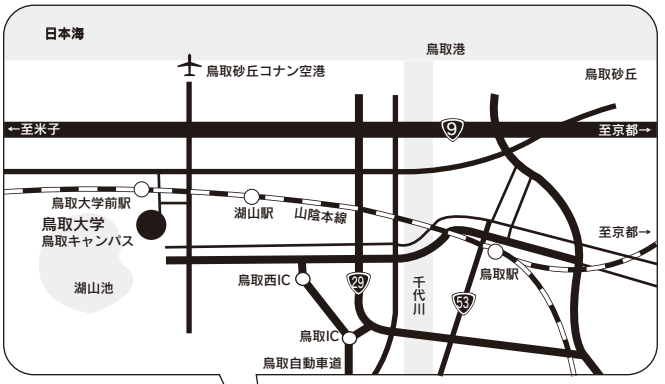
◎携帯電話サイト　http://daigakujc.jp/toridai/

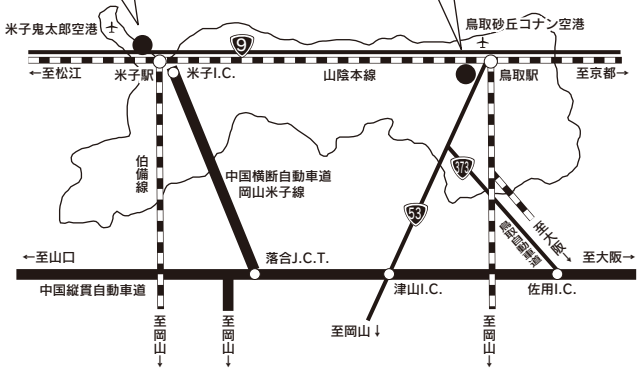
鳥取大学 位置図

米子（医学部試験会場）



鳥取（地域学部・工学部・農学部試験会場）





※　**交 通 案 内**

鳥取（地域学部・工学部・農学部試験会場）

〒680-8550　鳥取市湖山町南４丁目１０１番地

・JR鳥取大学前駅で下車すぐ
・JR鳥取駅からバスで約３０分（相生町・西品治経由）
・鳥取砂丘コナン空港からタクシーで約５分

米子（医学部試験会場）

〒683-8503　米子市西町８６番地

・JR米子駅から徒歩で約１５分
・JR米子駅からバスで約５分
・米子鬼太郎空港からバスで約３０分
・米子鬼太郎空港からタクシーで約２０分

鳥取大学　入試課

〒680-8550　鳥取市湖山町南４丁目１０１番地
電　話　　(0857)31-5061
ＦＡＸ　　(0857)31-6778
E-mail　st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp
ホームページアドレス
http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/
携帯電話サイト　http://daigakujc.jp/toridai/